



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
コード番号 7561 URL <https://www.hurxley.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中野 雅哉 TEL 06-6376-8088
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,664	△4.2	700	49.9	717	17.1	482	△6.4
2024年3月期第1四半期	11,136	60.8	467	472.3	612	216.4	515	429.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 524百万円 (14.9%) 2024年3月期第1四半期 456百万円 (113.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	26.09	26.05
2024年3月期第1四半期	28.00	27.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	63,017	24,403	38.7
2024年3月期	64,398	24,155	37.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 24,400百万円 2024年3月期 24,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.00	—	15.00	24.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,400	0.5	700	△21.5	950	△10.5	750	△10.8	40.59
通期	49,000	4.8	2,450	0.6	2,850	10.1	1,800	12.4	97.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	19,050,064株	2024年3月期	19,050,064株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	574,850株	2024年3月期	574,850株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	18,475,214株	2024年3月期1Q	18,402,714株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の拡大など社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化が続いているウクライナや中東情勢、原材料・エネルギー価格の高騰や為替相場の変動を背景とした物価の高騰は継続しており、依然として経済の見通しは不透明な状況が続いております。このような環境下において当社グループでは、2024年6月3日に発表いたしました「中期経営目標設定（2028年3月期最終年度）」の経営目標を達成すべく各セグメント別に戦略の推進をまいりました。

当グループは事業領域の拡大に合わせ、より事業活動の実態を適切に表すため、従来の「持ち帰り弁当事業」の名称を当第1四半期連結累計期間より「中食事業」へ変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(連結業績)

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期		
			前年同期差	前年同期比
売上高	11,136	10,664	△472	4.2%減
営業利益	467	700	233	49.9%増
経常利益	612	717	105	17.1%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	515	482	△33	6.4%減

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期		
			前年同期差	前年同期比
中食事業	4,092	4,106	13	0.3%増
店舗アセット& ソリューション事業	3,462	3,171	△290	8.4%減
物流・食品加工事業	4,179	3,982	△197	4.7%減
その他	191	228	36	19.2%増
計	11,926	11,490	△436	3.7%減
調整額（消去及び全社）	△790	△825	△35	—
計	11,136	10,664	△472	4.2%減

(セグメント別営業利益)

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期		
			前年同期差	前年同期比
中食事業	54	△34	△88	—
店舗アセット& ソリューション事業	426	616	189	44.3%増
物流・食品加工事業	96	304	207	215.9%増
その他	191	228	36	19.2%増
計	768	1,114	345	45.0%増
調整額（消去及び全社）	△301	△414	△112	—
計	467	700	233	49.9%増

①中食事業

中食事業においては、「つくりたてを、‘さらに’速く。」を謳う「ほっかほっか亭」を展開するほか、各種パーティ・イベント・セレモニー等の需要にお応えする仕出料理の展開まで、幅広い食シーンにお応えする事業を行っております。

＜ほっかほっか亭部門＞

毎年ご好評いただいている「回鍋肉シリーズ」や、若年層向けの「サルサチキン弁当」、「肉野菜炒めヤンニョムチキン弁当」を発売したほか、劇場版「ブルーロック」とコラボしたキャンペーンを展開しました。公式SNS(X)においては100万件を超えるインプレッション(表示回数)を獲得し、若年層のお客さまに「ほっかほっか亭」を知っていただき、ご来店いただくきっかけとなりました。

また、第3回「ほっかほっか亭」メニューコンテストで最優秀賞を獲得した「コク旨キムチ豚丼」の発売時には、Z世代向けのWEB CMを作成し大変ご好評をいただきました。自社アプリ「ほっかアプリ」ではセグメント分析を実施し、ターゲティング戦略に基づいたクーポンの配信、事前注文および、オンライン決済が可能な「モバイルオーダー」機能について改修を実施し、順調に会員数も伸長しております。また、デリバリーサービスの「Uber Eats」、「出前館」に加え、「Wolt」についても積極的にエリア拡大と共に新規導入を推進しており、各デリバリーサービスの売上も堅調に伸長しております。

＜仕出料理部門＞

ゴルフやサッカー等の大型スポーツ案件や、企業の新入社員歓迎会、研修後の懇親会や町会、消防署、警察などの地域に密着した需要など、コロナ禍以前の水準まで戻っており順調に受注に繋がりました。また、ECサイトからの受注が増加しており、新規顧客だけでなくリピーター顧客も獲得でき売上に大変貢献しております。高まる需要に対応するための人員補強も完了しており、今後も新規顧客や残存者利益の獲得に努めてまいります。

＜セレモニー部門＞

葬儀社等からの受注も徐々に回復基調にあります。

中食事業は、売上高41億6百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業損失34百万円(前年同四半期は営業利益54百万円)となりました。

②店舗アセット&ソリューション事業

飲食店などサービス業を取り巻く環境は、当第1四半期連結累計期間においては、原材料費・光熱費・人件費が高騰して採算面は厳しいものの、旺盛な訪日客消費もあり消費需要は活発化しました。不採算で撤退する店舗がある一方で、消費需要を捉えて出店意欲旺盛な業態も多く、好立地の店舗物件に対する需要は底堅く推移しました。

＜店舗ビジネス＞

店舗リースに関しては積極的投資方針のもと、飲食店を中心顧客層に、出店需要の高い優良物件の情報入手に注力しました。退店した後の店舗内装設備を撤去せず新たな出店者に居抜き利活用いただくことにより、退店者には原状回復費用の削減メリット、出店者には改装工事期間の短縮メリット、社会的には設備廃棄ロス削減という価値を創出します。店舗運営のコンサルタントとして「人(人材紹介)・モノ(店舗物件)・カネ(店舗アセットに関する財務支援)・情報」の多面的ソリューションの提案活動の結果、店舗リース取引店舗数は前連結会計年度末より8店純増し837店となりました。

＜店舗不動産ビジネス＞

所有または管理受託するビルのリーシングにより稼働店舗数を増やす活動および、仕入れた不動産の稼働率向上ならびに遵法性工事等によりそのビルのバリューアップ活動に注力し、東京都千代田区の秋葉原駅近くで地上9階建て商業ビル建設を4月に着工、神奈川県厚木市の本厚木駅前前で地上12階建て商業ビルを6月にグランドオープンしました。その結果、不動産管理テナント数は前連結会計年度末より5店純増し146店、所有不動産の稼働建物棟数は16棟、不動産アセットマネジメント対象の稼働建物棟数は7棟となりました。当第1四半期連結累計期間においては、店舗不動産の新規取得および販売実績はありませんでした。

＜人材採用ソリューション＞

飲食業・宿泊業・飲食料品製造業・農業・介護業を対象とした特定技能外国人の採用支援は、飲食業の実績が最多となりました。比較的長期の求職ニーズある特定技能外国人は、日本国内のサービス業における人材不足問題を解決し得る存在であり、店舗リース取引先からの期待も大きく店長クラスになり得る特定技能2号育成支援の整備に取り組んでいます。またコンサルティング業界の求人需要が高まる環境下、国内ハイクラス転職の分野でも採用支援実績を積み上げています。

< IT経営ソリューション >

洋菓子業界を中心顧客層に、POSレジシステム「ninapos」およびカートシステム・会員アプリの開発・提供を行っております。有名店での導入が多く、そこで修業した次世代のパティシエが独立時に利用する好循環もあり「ninapos」導入店舗数は、年1割程度の成長率で現在1千店を超えています。さらに店舗運営・経営改善に寄与するこのシステムを洋菓子業界のみならずベーカリー業界にも展開に取り組んでおります。6月には関東で多店舗展開する著名ベーカリー店への大口納品を実現しました。またPOSデータをビッグデータとして集積・有効活用する店舗運営コンサルティングサービスにも取り組んでいます。

(参考)

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末 ①	2024年6月末 ②	②-①
店舗リース取引店舗数(店)	757	810	829	837	8
不動産管理テナント数(店)	80	116	141	146	5
稼働店舗数(店)	837	926	970	983	13

< パーティー・イベント用品レンタル >

パーティー・イベント用品レンタル事業においては、コロナ収束後、大幅に回復傾向にあったケータリング需要は落ち着いてきたものの、一方で伸び悩んでおりました事業所関連のパーティー需要は徐々に復活してきております。今後も、商品構成の見直しや市場分析、適切な商品への投資、業務の効率化への注力を引き続き強化し、更なる需要に対応できるよう準備を進めていきます。

店舗アセット&ソリューション事業は、売上高31億71百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益6億16百万円（同44.3%増）となりました。

③物流・食品加工事業

物流・食品加工事業においては、ほっかほっか亭店舗へ導入する食品の加工やスーパー、コンビニエンスストア等からのOEM製造受託をはじめとしたカミッサリーと、商材や食材等の配送を担う物流のほか、ピーナッツやドライフルーツ等の菓子製造や卸販売を行っております。

< 物流部門・カミッサリー部門 >

既存取引の拡大と新規取引の獲得、カミッサリーの稼働率向上に伴う生産体制の改革を目標に、製造・開発部署と営業部署との連携強化を目的とした組織体制の見直し実施いたしました。また、6月にはカミッサリー加熱ライン専用の真空タンブラー（調味用機械）を新たに設置しました。これら取り組みにより、自社オリジナル製品の開発、顧客との共同開発、製造計画、販売計画等の各シーンにおいて精度が向上し、自社製造商品のスポット採用からリピート、さらに定番化へと確実に売上拡大に繋がっています。

菓子製造部門においては、既存主要商品が依然として好調を維持しており、ドラッグストア・大手スーパーを中心に導入店舗数も順調に増えております。円安による外国人観光客の増加に伴い、インバウンド商品の売上はコロナ禍以前の水準まで回復しました。売れ筋商品である「クレイジーソルトナッツ」は依然として好調で、今後も売上増加が期待できます。秋冬新商品の発売も決定し、順調に導入が決まっております。

収益面においては、円安の影響と、自然環境の影響による原料不作により、現地相場は上昇傾向にありますが、相場上昇を早期に察知し、相場の良い時期に原料を確保することで収益の維持に努めております。

また、産地、素材、製法等、こだわりの商品開発を行い、既存の売上を堅守する傍ら、アウトドア店向け行動食、ペットフード、キャラクター商品等、今までの販路にとらわれない商品開発を同時に進める事により新規販路開拓も実施しております。

物流・食品加工事業は、売上高39億82百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益304百万円（同215.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は630億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億80百万円減少しました。これは主に借入金の返済、期末配当金の支払い及び納税に伴う現金及び預金の減少によるものです。

負債合計は386億14百万円となり前連結会計年度末に比べ16億29百万円減少しました。これは主に借入金、未払法人税等、未払消費税等の減少によるものです。

純資産は244億3百万円となり前連結会計年度末に比べ2億48百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,611	13,113
受取手形、売掛金及び契約資産	3,068	3,188
商品及び製品	7,574	7,702
原材料及び貯蔵品	729	823
その他	1,704	1,590
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	27,668	26,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,241	9,419
機械装置及び運搬具（純額）	1,108	1,135
工具、器具及び備品（純額）	191	209
土地	12,258	12,258
リース資産（純額）	115	109
建設仮勘定	132	190
有形固定資産合計	23,047	23,323
無形固定資産		
借地権	3,480	3,480
のれん	490	447
その他	201	195
無形固定資産合計	4,172	4,123
投資その他の資産		
投資有価証券	4,190	3,795
長期貸付金	3	3
敷金及び保証金	4,785	4,901
繰延税金資産	134	94
長期未収入金	420	414
退職給付に係る資産	106	106
その他	277	262
貸倒引当金	△408	△405
投資その他の資産合計	9,509	9,172
固定資産合計	36,729	36,619
資産合計	64,398	63,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,574	3,545
1年内償還予定の社債	7	7
短期借入金	1,965	1,765
1年内返済予定の長期借入金	5,155	5,125
未払金	1,012	877
未払法人税等	591	111
未払消費税等	184	158
賞与引当金	285	437
その他	2,830	2,598
流動負債合計	15,606	14,626
固定負債		
社債	58	51
長期借入金	19,507	18,979
長期預り保証金	4,203	4,029
繰延税金負債	55	71
退職給付に係る負債	20	20
資産除去債務	530	523
その他	262	313
固定負債合計	24,636	23,987
負債合計	40,243	38,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	1,904	1,904
利益剰余金	18,229	18,434
自己株式	△391	△391
株主資本合計	23,779	23,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373	416
その他の包括利益累計額合計	373	416
新株予約権	2	3
純資産合計	24,155	24,403
負債純資産合計	64,398	63,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,136	10,664
売上原価	7,553	6,981
売上総利益	3,583	3,682
販売費及び一般管理費	3,116	2,982
営業利益	467	700
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	65	30
投資有価証券売却益	53	—
受取手数料	32	15
受取賃貸料	5	—
業務委託契約解約益	3	22
その他	46	23
営業外収益合計	205	92
営業外費用		
支払利息	21	35
業務委託契約解約損	—	4
支払手数料	6	8
持分法による投資損失	9	23
その他	22	3
営業外費用合計	60	74
経常利益	612	717
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	6	—
受取和解金	10	—
受取補償金	—	55
その他	9	0
特別利益合計	26	55
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	4	4
減損損失	10	—
支払補償金	—	44
特別損失合計	15	48
税金等調整前四半期純利益	623	724
法人税、住民税及び事業税	177	205
法人税等調整額	△69	37
法人税等合計	108	242
四半期純利益	515	482
親会社株主に帰属する四半期純利益	515	482

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	515	482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	△58	42
四半期包括利益	456	524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	456	524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	271百万円	313百万円
のれんの償却額	42	42

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	中食事業	店舗アセット &ソリューション事業	物流・食品 加工事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,027	1,239	3,718	8,985	—	8,985
一定の期間にわたり移転される財	6	—	—	6	—	6
顧客との契約から生じる収益	4,034	1,239	3,718	8,991	—	8,991
その他の収益	0	2,144	—	2,144	—	2,144
外部顧客への売上高	4,034	3,384	3,718	11,136	—	11,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	58	78	461	598	191	790
計	4,092	3,462	4,179	11,735	191	11,926
セグメント利益	54	426	96	577	191	768

	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高		
一時点で移転される財	—	8,985
一定の期間にわたり移転される財	—	6
顧客との契約から生じる収益	—	8,991
その他の収益	—	2,144
外部顧客への売上高	—	11,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	△790	—
計	△790	11,136
セグメント利益	△301	467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ支援事業であります。

2. セグメント利益の調整額△301百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△303百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「中食事業」において、固定資産の減損損失の計上をしております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において10百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	中食事業	店舗アセット &ソリューション事業	物流・食品 加工事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,086	1,762	3,498	9,347	—	9,347
一定の期間にわたり移転される財	7	—	—	7	—	7
顧客との契約から生じる収益	4,094	1,762	3,498	9,354	—	9,354
その他の収益	1	1,303	3	1,309	—	1,309
外部顧客への売上高	4,096	3,066	3,502	10,664	—	10,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	105	480	597	228	825
計	4,106	3,171	3,982	11,261	228	11,490
セグメント利益又は損失(△)	△34	616	304	886	228	1,114

	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高		
一時点で移転される財	—	9,347
一定の期間にわたり移転される財	—	7
顧客との契約から生じる収益	—	9,354
その他の収益	—	1,309
外部顧客への売上高	—	10,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	△825	—
計	△825	10,664
セグメント利益又は損失(△)	△414	700

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△414百万円には、セグメント間取引消去△13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△401百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来の「持ち帰り弁当事業」を「中食事業」へ名称を変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント名称にて作成しております。